臺灣日日新報 昭和十年十月二十六日 (土曜日) 第一万二千七百七十八號 A (一)二

臺灣昌新來幸の(十)

十月二十五日 夕刊定價一部二錢

本田大佐を中心に 武官室で重要協議

對支政策の諸工作につき 現地武官や總領事を交へて

重要會議に臨んだが先づ本田軍事官室で本田軍事部長、下村陸軍次官、加藤外務省第四課長、堀内海軍省軍事課長、酒井海軍武官、水野在滬日本總領事、坂本在南京日本總領事、山田在青島日本總領事、谷在廣東日本總領事、有田在漢口日本總領事、岡崎在奉天日本總領事、吉田在北平日本總領事、船津在上海日本總領事、石射在廣州日本總領事、山田在廈門日本總領事が參集、對支政策に關し

廿五日八時から開會前後五時

今回對支政策の重要なる點は米穀問題として傳へてゐるも、然し政策の運用に關しては當局者より發表されない限りは確實なことは出來ぬ、出先きの意見と充分協議を遂げる所あり正午散會したが午餐は本會議と共に軍事官室で取つた、尚ほ午後一時より米穀問題に關し本多總領事と現地の狀況

戰區保安隊こそ 商軍と衝突の危機

形勢極度に緊張！

蔣介石氏の獨裁 愈よ濃厚となる

憲法草案五項を修正

【天津二十四日發電】第六次中央全體會議第五次全國代表大會に出席の爲め南京に赴いた冀察政務委員會委員長宋哲元氏は廿四日午後一時半南京着、直ちに中央黨部に入つて蔣介石氏と會見、引續き國民政府に入つて林主席と會見、更に汪行政院長と會見した

【南京二十四日發電】第六次中央全體會議は廿四日午後三時より國民政府大禮堂に開會、蔣介石氏の獨裁的憲法草案を修正可決した

【南京二十四日發電】第六次中央全體會議は廿四日午後三時より國民政府大禮堂に開會、蔣介石氏の獨裁的憲法草案を修正可決した

【南京二十四日發電】第六次中央全體會議第五次全國代表大會

強豪新鋭をすぐり 大擧來征の滿洲軍

臺灣代表も補強工作を進む

植民地對抗陸上競技

「臺灣」を前の優勝校一臺北一滿洲、朝鮮、關東州、樺太、臺灣、南洋、支那、内地（東京、大阪、名古屋、京都、神戸）の九地域十校の代表選手を以て十一月十八、十七兩日の二日間明治神宮競技場に於て開催される事となつて既に滿洲は豫選會を了へ關東州、朝鮮は關東州代表、朝鮮代表決定戰を行ひ夫々代表選手團を組織し、臺灣代表も豫選會の上から十月二日代表決定戰トライアルを行ひ以て滿洲代表と共に去る十月六日滿洲に於て第一回滿洲體育協會主催の滿洲國體育大會の際に滿洲代表チームと對戰の上から十月二日代表決定戰トライアルを行ひ以て滿洲代表と共に去る十月六日滿洲に於て第一回滿洲體育協會主催の滿洲國體育大會の際に滿洲代表チームと對戰の上から十月二日代表決定戰トライアルを行ひ以て滿洲代表と共に去る十月六日滿洲に於て第一回滿洲體育協會主催の滿洲國體育大會の際に滿洲代表チームと對戰の上から

【臺北特電】第二臨時陸軍大演習に參加中の陸軍大將本田大佐は十一月九日午前十時五十分から第二會場附近に於て觀覽官、新聞記者等のために特別演習を行ふ事となつたが、當日は午前十時より雨天となつたので演習は中止となつた

【臺北特電】第二臨時陸軍大演習に參加中の陸軍大將本田大佐は十一月九日午前十時五十分から第二會場附近に於て觀覽官、新聞記者等のために特別演習を行ふ事となつたが、當日は午前十時より雨天となつたので演習は中止となつた

軍艦「龍田」上海から 今朝基隆に入港

會議出席の本田大佐を乘せ……

在泊中の「逸仙」と禮砲交換

【基隆特電】第二臨時陸軍大演習に參加中の陸軍大將本田大佐は十一月九日午前十時五十分から第二會場附近に於て觀覽官、新聞記者等のために特別演習を行ふ事となつたが、當日は午前十時より雨天となつたので演習は中止となつた

東武官に總司令部に參謀、副官を伴つて參謀長シンテで同艦に乘り込み下村部長官に敬意を表したが之に從つて岩田參謀長、岩田副官長の式參謀に次いで、新井、秦北部兵事部長、松岡、中村兩部長、松岡參謀長、中村兩部長、松岡參謀長、中村兩部長、松岡參謀長

國防受難の活歴史

元寇

（69）

藤井眞澄作
齋藤五百枝畫

怪老人の正體（二）

怪老人は、その大眼をカッと見開いたかと思うと、

「ううむ、遂に來たか、蒙古の大軍が……」

と、獨りごとのように呟いて、深く考え込んだ。

「あの神しい龍顏の離れ座島から、筑紫羽二重様の御紋、水無瀬山……わかふさと云えぬらん、まがきは野ら人かとはで……」

「その飛び出た白い眼から、大きな歯の玉が、ばら〳〵……と落ちた。

源太郎も何ということなしに暗然として頭をたれる。

少時默つてゐた怪老人、急に思ひ出したやうに、平手で鋭の玉を押しつけたと、あらたまつて云ひ出した。

「今はもう何を隠さう、それがしこそは、先の合戦の落人、中内豊置でござる」と

「なに、御名をあの中内豊置殿だと。これは不思議、彼の御仁は寛二年捕へられて、斯せられたと承はつてゐるが……」

源太郎、老人を大笑した。

「あはゝゝゝゝ。それが實は大違ひ。日本を売國の吸血鬼から救ひ出すために、大膽不敵にも敵の大將に化けて、敵陣に入り込んだ中内豊置その人である。今から約六百年の昔であるが、今も昔も日本を救ふ人は、大抵決つて變人である。それから今日まで日本は災厄の女王までに云はれて居ます、酒の女王までに云はれて居ます、此の酒は最も高尚なものとして、ふだん、それから今日まで日本は災厄の女王までに云はれて居ます、酒の女王までに云はれて居ます、此の酒は最も高尚なものとして、

ジン

ジンはオランダ、イギリス、フランス、デンマーク、スエーデン、ノールウエー等で出來る酒で、四五ヘアセント内外のアルコール分を含んで居ます。大麥、小麥、ライ麥等を原料としてその醪醸に杜松の實を加へて蒸溜した次酒です。甘味をつけた「オールド・トム・ジン」と、辛口の「ドライ・ジン」の二種があります。其他杜松の實の代りにいろ〳〵の香味をつけた「スロージン」やオレンジでつけた「オレンヂ・ジン」があります。

シャルトルーズ

次に述べるベネヂクテインと共に最も有名な味のものとされて居ます。白色の二種があります。何れも數十種の藥草でつくられたリキュールで、甘口の二種は、一八〇四年の發明、辛口の二種は、一八四四年の發明、共に修道院で造つてゐます。

ベネヂクテイン

此の酒は最も高尚なものとして、アルコール分は四〇ヘアセント前後です。甘口の二種は、一八〇四年の發明、辛口の二種は、一八四四年の發明、共に修道院で造つてゐます。

キユラソー

蘭領西印度のキュラソー島で最初つくられたので此の名があります。ビター・オレンヂの皮を乾したものを原料として造つた酒で、現在はフランスとオランダがその產地です。白と褐色が普通ですが、緑色のものもあります。南國の強い日光をそのまゝに通はせるといふ點がこの酒です。

ベパーミント

薄荷酒。西印度諸島產の薄荷の一種から製した緑色の酒です。二百ヘアセントくらゐのアルコールを含んで居ます。

アブサント

通稱「アブサン」と呼ばれる酒で、苦艾油その他を原料として居ます。強いアルコールの多い酒で七ヘアセント内外を含んで居ます。

ヴエルモット

土耳其原料は苦艾を加へた白葡萄酒で、イタリー及びフランスがその主地です。イタリー・ヴエルモットは赤褐色で苦味と香りの多い酒ですが、フランス・ヴエルモットは色うすく苦味も香りの少い酒です。以上此他に百といふ種類があります。

雜誌紹介

▲每月一日發賣（定價二十錢）臺灣教育會發行の「臺灣教育」は、教育界の權威として、本島教育界の進展に貢獻する所多大なるは今更言ふまでもない。最近の號は、（一）臺灣教育會の新事業（二）教育會の組織變更（三）教育會の新役員（四）教育會の新事業（五）教育會の新役員（六）教育會の新事業（七）教育會の新役員（八）教育會の新事業（九）教育會の新役員（十）教育會の新事業（十一）教育會の新役員（十二）教育會の新事業（十三）教育會の新役員（十四）教育會の新事業（十五）教育會の新役員（十六）教育會の新事業（十七）教育會の新役員（十八）教育會の新事業（十九）教育會の新役員（二十）教育會の新事業（二十一）教育會の新役員（二十二）教育會の新事業（二十三）教育會の新役員（二十四）教育會の新事業（二十五）教育會の新役員（二十六）教育會の新事業（二十七）教育會の新役員（二十八）教育會の新事業（二十九）教育會の新役員（三十）教育會の新事業（三十一）教育會の新役員（三十二）教育會の新事業（三十三）教育會の新役員（三十四）教育會の新事業（三十五）教育會の新役員（三十六）教育會の新事業（三十七）教育會の新役員（三十八）教育會の新事業（三十九）教育會の新役員（四十）教育會の新事業（四十一）教育會の新役員（四十二）教育會の新事業（四十三）教育會の新役員（四十四）教育會の新事業（四十五）教育會の新役員（四十六）教育會の新事業（四十七）教育會の新役員（四十八）教育會の新事業（四十九）教育會の新役員（五十）教育會の新事業（五十一）教育會の新役員（五十二）教育會の新事業（五十三）教育會の新役員（五十四）教育會の新事業（五十五）教育會の新役員（五十六）教育會の新事業（五十七）教育會の新役員（五十八）教育會の新事業（五十九）教育會の新役員（六十）教育會の新事業（六十一）教育會の新役員（六十二）教育會の新事業（六十三）教育會の新役員（六十四）教育會の新事業（六十五）教育會の新役員（六十六）教育會の新事業（六十七）教育會の新役員（六十八）教育會の新事業（六十九）教育會の新役員（七十）教育會の新事業（七十一）教育會の新役員（七十二）教育會の新事業（七十三）教育會の新役員（七十四）教育會の新事業（七十五）教育會の新役員（七十六）教育會の新事業（七十七）教育會の新役員（七十八）教育會の新事業（七十九）教育會の新役員（八十）教育會の新事業（八十一）教育會の新役員（八十二）教育會の新事業（八十三）教育會の新役員（八十四）教育會の新事業（八十五）教育會の新役員（八十六）教育會の新事業（八十七）教育會の新役員（八十八）教育會の新事業（八十九）教育會の新役員（九十）教育會の新事業（九十一）教育會の新役員（九十二）教育會の新事業（九十三）教育會の新役員（九十四）教育會の新事業（九十五）教育會の新役員（九十六）教育會の新事業（九十七）教育會の新役員（九十八）教育會の新事業（九十九）教育會の新役員（百）教育會の新事業（百一）教育會の新役員（百二）教育會の新事業（百三）教育會の新役員（百四）教育會の新事業（百五）教育會の新役員（百六）教育會の新事業（百七）教育會の新役員（百八）教育會の新事業（百九）教育會の新役員（百十）教育會の新事業（百十一）教育會の新役員（百十二）教育會の新事業（百十三）教育會の新役員（百十四）教育會の新事業（百十五）教育會の新役員（百十六）教育會の新事業（百十七）教育會の新役員（百十八）教育會の新事業（百十九）教育會の新役員（百二十）教育會の新事業（百二十一）教育會の新役員（百二十二）教育會の新事業（百二十三）教育會の新役員（百二十四）教育會の新事業（百二十五）教育會の新役員（百二十六）教育會の新事業（百二十七）教育會の新役員（百二十八）教育會の新事業（百二十九）教育會の新役員（百三十）教育會の新事業（百三十一）教育會の新役員（百三十二）教育會の新事業（百三十三）教育會の新役員（百三十四）教育會の新事業（百三十五）教育會の新役員（百三十六）教育會の新事業（百三十七）教育會の新役員（百三十八）教育會の新事業（百三十九）教育會の新役員（百四十）教育會の新事業（百四十一）教育會の新役員（百四十二）教育會の新事業（百四十三）教育會の新役員（百四十四）教育會の新事業（百四十五）教育會の新役員（百四十六）教育會の新事業（百四十七）教育會の新役員（百四十八）教育會の新事業（百四十九）教育會の新役員（百五十）教育會の新事業（百五十一）教育會の新役員（百五十二）教育會の新事業（百五十三）教育會の新役員（百五十四）教育會の新事業（百五十五）教育會の新役員（百五十六）教育會の新事業（百五十七）教育會の新役員（百五十八）教育會の新事業（百五十九）教育會の新役員（百六十）教育會の新事業（百六十一）教育會の新役員（百六十二）教育會の新事業（百六十三）教育會の新役員（百六十四）教育會の新事業（百六十五）教育會の新役員（百六十六）教育會の新事業（百六十七）教育會の新役員（百六十八）教育會の新事業（百六十九）教育會の新役員（百七十）教育會の新事業（百七十一）教育會の新役員（百七十二）教育會の新事業（百七十三）教育會の新役員（百七十四）教育會の新事業（百七十五）教育會の新役員（百七十六）教育會の新事業（百七十七）教育會の新役員（百七十八）教育會の新事業（百七十九）教育會の新役員（百八十）教育會の新事業（百八十一）教育會の新役員（百八十二）教育會の新事業（百八十三）教育會の新役員（百八十四）教育會の新事業（百八十五）教育會の新役員（百八十六）教育會の新事業（百八十七）教育會の新役員（百八十八）教育會の新事業（百八十九）教育會の新役員（百九十）教育會の新事業（百九十一）教育會の新役員（百九十二）教育會の新事業（百九十三）教育會の新役員（百九十四）教育會の新事業（百九十五）教育會の新役員（百九十六）教育會の新事業（百九十七）教育會の新役員（百九十八）教育會の新事業（百九十九）教育會の新役員（二百）教育會の新事業（二百一）教育會の新役員（二百二）教育會の新事業（二百三）教育會の新役員（二百四）教育會の新事業（二百五）教育會の新役員（二百六）教育會の新事業（二百七）教育會の新役員（二百八）教育會の新事業（二百九）教育會の新役員（二百十）教育會の新事業（二百十一）教育會の新役員（二百十二）教育會の新事業（二百十三）教育會の新役員（二百十四）教育會の新事業（二百十五）教育會の新役員（二百十六）教育會の新事業（二百十七）教育會の新役員（二百十八）教育會の新事業（二百十九）教育會の新役員（二百二十）教育會の新事業（二百二十一）教育會の新役員（二百二十二）教育會の新事業（二百二十三）教育會の新役員（二百二十四）教育會の新事業（二百二十五）教育會の新役員（二百二十六）教育會の新事業（二百二十七）教育會の新役員（二百二十八）教育會の新事業（二百二十九）教育會の新役員（二百三十）教育會の新事業（二百三十一）教育會の新役員（二百三十二）教育會の新事業（二百三十三）教育會の新役員（二百三十四）教育會の新事業（二百三十五）教育會の新役員（二百三十六）教育會の新事業（二百三十七）教育會の新役員（二百三十八）教育會の新事業（二百三十九）教育會の新役員（二百四十）教育會の新事業（二百四十一）教育會の新役員（二百四十二）教育會の新事業（二百四十三）教育會の新役員（二百四十四）教育會の新事業（二百四十五）教育會の新役員（二百四十六）教育會の新事業（二百四十七）教育會の新役員（二百四十八）教育會の新事業（二百四十九）教育會の新役員（二百五十）教育會の新事業（二百五十一）教育會の新役員（二百五十二）教育會の新事業（二百五十三）教育會の新役員（二百五十四）教育會の新事業（二百五十五）教育會の新役員（二百五十六）教育會の新事業（二百五十七）教育會の新役員（二百五十八）教育會の新事業（二百五十九）教育會の新役員（二百六十）教育會の新事業（二百六十一）教育會の新役員（二百六十二）教育會の新事業（二百六十三）教育會の新役員（二百六十四）教育會の新事業（二百六十五）教育會の新役員（二百六十六）教育會の新事業（二百六十七）教育會の新役員（二百六十八）教育會の新事業（二百六十九）教育會の新役員（二百七十）教育會の新事業（二百七十一）教育會の新役員（二百七十二）教育會の新事業（二百七十三）教育會の新役員（二百七十四）教育會の新事業（二百七十五）教育會の新役員（二百七十六）教育會の新事業（二百七十七）教育會の新役員（二百七十八）教育會の新事業（二百七十九）教育會の新役員（二百八十）教育會の新事業（二百八十一）教育會の新役員（二百八十二）教育會の新事業（二百八十三）教育會の新役員（二百八十四）教育會の新事業（二百八十五）教育會の新役員（二百八十六）教育會の新事業（二百八十七）教育會の新役員（二百八十八）教育會の新事業（二百八十九）教育會の新役員（二百九十）教育會の新事業（二百九十一）教育會の新役員（二百九十二）教育會の新事業（二百九十三）教育會の新役員（二百九十四）教育會の新事業（二百九十五）教育會の新役員（二百九十六）教育會の新事業（二百九十七）教育會の新役員（二百九十八）教育會の新事業（二百九十九）教育會の新役員（三百）教育會の新事業（三百一）教育會の新役員（三百二）教育會の新事業（三百三）教育會の新役員（三百四）教育會の新事業（三百五）教育會の新役員（三百六）教育會の新事業（三百七）教育會の新役員（三百八）教育會の新事業（三百九）教育會の新役員（三百十）教育會の新事業（三百十一）教育會の新役員（三百十二）教育會の新事業（三百十三）教育會の新役員（三百十四）教育會の新事業（三百十五）教育會の新役員（三百十六）教育會の新事業（三百十七）教育會の新役員（三百十八）教育會の新事業（三百十九）教育會の新役員（三百二十）教育會の新事業（三百二十一）教育會の新役員（三百二十二）教育會の新事業（三百二十三）教育會の新役員（三百二十四）教育會の新事業（三百二十五）教育會の新役員（三百二十六）教育會の新事業（三百二十七）教育會の新役員（三百二十八）教育會の新事業（三百二十九）教育會の新役員（三百三十）教育會の新事業（三百三十一）教育會の新役員（三百三十二）教育會の新事業（三百三十三）教育會の新役員（三百三十四）教育會の新事業（三百三十五）教育會の新役員（三百三十六）教育會の新事業（三百三十七）教育會の新役員（三百三十八）教育會の新事業（三百三十九）教育會の新役員（三百四十）教育會の新事業（三百四十一）教育會の新役員（三百四十二）教育會の新事業（三百四十三）教育會の新役員（三百四十四）教育會の新事業（三百四十五）教育會の新役員（三百四十六）教育會の新事業（三百四十七）教育會の新役員（三百四十八）教育會の新事業（三百四十九）教育會の新役員（三百五十）教育會の新事業（三百五十一）教育會の新役員（三百五十二）教育會の新事業（三百五十三）教育會の新役員（三百五十四）教育會の新事業（三百五十五）教育會の新役員（三百五十六）教育會の新事業（三百五十七）教育會の新役員（三百五十八）教育會の新事業（三百五十九）教育會の新役員（三百六十）教育會の新事業（三百六十一）教育會の新役員（三百六十二）教育會の新事業（三百六十三）教育會の新役員（三百六十四）教育會の新事業（三百六十五）教育會の新役員（三百六十六）教育會の新事業（三百六十七）教育會の新役員（三百六十八）教育會の新事業（三百六十九）教育會の新役員（三百七十）教育會の新事業（三百七十一）教育會の新役員（三百七十二）教育會の新事業（三百七十三）教育會の新役員（三百七十四）教育會の新事業（三百七十五）教育會の新役員（三百七十六）教育會の新事業（三百七十七）教育會の新役員（三百七十八）教育會の新事業（三百七十九）教育會の新役員（三百八十）教育會の新事業（三百八十一）教育會の新役員（三百八十二）教育會の新事業（三百八十三）教育會の新役員（三百八十四）教育會の新事業（三百八十五）教育會の新役員（三百八十六）教育會の新事業（三百八十七）教育會の新役員（三百八十八）教育會の新事業（三百八十九）教育會の新役員（三百九十）教育會の新事業（三百九十一）教育會の新役員（三百九十二）教育會の新事業（三百九十三）教育會の新役員（三百九十四）教育會の新事業（三百九十五）教育會の新役員（三百九十六）教育會の新事業（三百九十七）教育會の新役員（三百九十八）教育會の新事業（三百九十九）教育會の新役員（四百）教育會の新事業（四百一）教育會の新役員（四百二）教育會の新事業（四百三）教育會の新役員（四百四）教育會の新事業（四百五）教育會の新役員（四百六）教育會の新事業（四百七）教育會の新役員（四百八）教育會の新事業（四百九）教育會の新役員（四百十）教育會の新事業（四百十一）教育會の新役員（四百十二）教育會の新事業（四百十三）教育會の新役員（四百十四）教育會の新事業（四百十五）教育會の新役員（四百十六）教育會の新事業（四百十七）教育會の新役員（四百十八）教育會の新事業（四百十九）教育會の新役員（四百二十）教育會の新事業（四百二十一）教育會の新役員（四百二十二）教育會の新事業（四百二十三）教育會の新役員（四百二十四）教育會の新事業（四百二十五）教育會の新役員（四百二十六）教育會の新事業（四百二十七）教育會の新役員（四百二十八）教育會の新事業（四百二十九）教育會の新役員（四百三十）教育會の新事業（四百三十一）教育會の新役員（四百三十二）教育會の新事業（四百三十三）教育會の新役員（四百三十四）教育會の新事業（四百三十五）教育會の新役員（四百三十六）教育會の新事業（四百三十七）教育會の新役員（四百三十八）教育會の新事業（四百三十九）教育會の新役員（四百四十）教育會の新事業（四百四十一）教育會の新役員（四百四十二）教育會の新事業（四百四十三）教育會の新役員（四百四十四）教育會の新事業（四百四十五）教育會の新役員（四百四十六）教育會の新事業（四百四十七）教育會の新役員（四百四十八）教育會の新事業（四百四十九）教育會の新役員（四百五十）教育會の新事業（四百五十一）教育會の新役員（四百五十二）教育會の新事業（四百五十三）教育會の新役員（四百五十四）教育會の新事業（四百五十五）教育會の新役員（四百五十六）教育會の新事業（四百五十七）教育會の新役員（四百五十八）教育會の新事業（四百五十九）教育會の新役員（四百六十）教育會の新事業（四百六十一）教育會の新役員（四百六十二）教育會の新事業（四百六十三）教育會の新役員（四百六十四）教育會の新事業（四百六十五）教育會の新役員（四百六十六）教育會の新事業（四百六十七）教育會の新役員（四百六十八）教育會の新事業（四百六十九）教育會の新役員（四百七十）教育會の新事業（四百七十一）教育會の新役員（四百七十二）教育會の新事業（四百七十三）教育會の新役員（四百七十四）教育會の新事業（四百七十五）教育會の新役員（四百七十六）教育會の新事業（四百七十七）教育會の新役員（四百七十八）教育會の新事業（四百七十九）教育會の新役員（四百八十）教育會の新事業（四百八十一）教育會の新役員（四百八十二）教育會の新事業（四百八十三）教育會の新役員（四百八十四）教育會の新事業（四百八十五）教育會の新役員（四百八十六）教育會の新事業（四百八十七）教育會の新役員（四百八十八）教育會の新事業（四百八十九）教育會の新役員（四百九十）教育會の新事業（四百九十一）教育會の新役員（四百九十二）教育會の新事業（四百九十三）教育會の新役員（四百九十四）教育會の新事業（四百九十五）教育會の新役員（四百九十六）教育會の新事業（四百九十七）教育會の新役員（四百九十八）教育會の新事業（四百九十九）教育會の新役員（五百）教育會の新事業（五百一）教育會の新役員（五百二）教育會の新事業（五百三）教育會の新役員（五百四）教育會の新事業（五百五）教育會の新役員（五百六）教育會の新事業（五百七）教育會の新役員（五百八）教育會の新事業（五百九）教育會の新役員（五百十）教育會の新事業（五百十一）教育會の新役員（五百十二）教育會の新事業（五百十三）教育會の新役員（五百十四）教育會の新事業（五百十五）教育會の新役員（五百十六）教育會の新事業（五百十七）教育會の新役員（五百十八）教育會の新事業（五百十九）教育會の新役員（五百二十）教育會の新事業（五百二十一）教育會の新役員（五百二十二）教育會の新事業（五百二十三）教育會の新役員（五百二十四）教育會の新事業（五百二十五）教育會の新役員（五百二十六）教育會の新事業（五百二十七）教育會の新役員（五百二十八）教育會の新事業（五百二十九）教育會の新役員（五百三十）教育會の新事業（五百三十一）教育會の新役員（五百三十二）教育會の新事業（五百三十三）教育會の新役員（五百三十四）教育會の新事業（五百三十五）教育會の新役員（五百三十六）教育會の新事業（五百三十七）教育會の新役員（五百三十八）教育會の新事業（五百三十九）教育會の新役員（五百四十）教育會の新事業（五百四十一）教育會の新役員（五百四十二）教育會の新事業（五百四十三）教育會の新役員（五百四十四）教育會の新事業（五百四十五）教育會の新役員（五百四十六）教育會の新事業（五百四十七）教育會の新役員（五百四十八）教育會の新事業（五百四十九）教育會の新役員（五百五十）教育會の新事業（五百五十一）教育會の新役員（五百五十二）教育會の新事業（五百五十三）教育會の新役員（五百五十四）教育會の新事業（五百五十五）教育會の新役員（五百五十六）教育會の新事業（五百五十七）教育會の新役員（五百五十八）教育會の新事業（五百五十九）教育會の新役員（五百六十）教育會の新事業（五百六十一）教育會の新役員（五百六十二）教育會の新事業（五百六十三）教育會の新役員（五百六十四）教育會の新事業（五百六十五）教育會の新役員（五百六十六）教育會の新事業（五百六十七）教育會の新役員（五百六十八）教育會の新事業（五百六十九）教育會の新役員（五百七十）教育會の新事業（五百七十一）教育會の新役員（五百七十二）教育會の新事業（五百七十三）教育會の新役員（五百七十四）教育會の新事業（五百七十五）教育會の新役員（五百七十六）教育會の新事業（五百七十七）教育會の新役員（五百七十八）教育會の新事業（五百七十九）教育會の新役員（五百八十）教育會の新事業（五百八十一）教育會の新役員（五百八十二）教育會の新事業（五百八十三）教育會の新役員（五百八十四）教育會の新事業（五百八十五）教育會の新役員（五百八十六）教育會の新事業（五百八十七）教育會の新役員（五百八十八）教育會の新事業（五百八十九）教育會の新役員（五百九十）教育會の新事業（五百九十一）教育會の新役員（五百九十二）教育會の新事業（五百九十三）教育會の新役員（五百九十四）教育會の新事業（五百九十五）教育會の新役員（五百九十六）教育會の新事業（五百九十七）教育會の新役員（五百九十八）教育會の新事業（五百九十九）教育會の新役員（六百）教育會の新事業（六百一）教育會の新役員（六百二）教育會の新事業（六百三）教育會の新役員（六百四）教育會の新事業（六百五）教育會の新役員（六百六）教育會の新事業（六百七）教育會の新役員（六百八）教育會の新事業（六百九）教育會の新役員（六百十）教育會の新事業（六百十一）教育會の新役員（六百十二）教育會の新事業（六百十三）教育會の新役員（六百十四）教育會の新事業（六百十五）教育會の新役員（六百十六）教育會の新事業（六百十七）教育會の新役員（六百十八）教育會の新事業（六百十九）教育會の新役員（六百二十）教育會の新事業（六百二十一）教育會の新役員（六百二十二）教育會の新事業（六百二十三）教育會の新役員（六百二十四）教育會の新事業（六百二十五）教育會の新役員（六百二十六）教育會の新事業（六百二十七）教育會の新役員（六百二十八）教育會の新事業（六百二十九）教育會の新役員（六百三十）教育會の新事業（六百三十一）教育會の新役員（六百三十二）教育會の新事業（六百三十三）教育會の新役員（六百三十四）教育會の新事業（六百三十五）教育會の新役員（六百三十六）教育會の新事業（六百三十七）教育會の新役員（六百三十八）教育會の新事業（六百三十九）教育會の新役員（六百四十）教育會の新事業（六百四十一）教育會の新役員（六百四十二）教育會の新事業（六百四十三）教育會の新役員（六百四十四）教育會の新事業（六百四十五）教育會の新役員（六百四十六）教育會の新事業（六百四十七）教育會の新役員（六百四十八）教育會の新事業（六百四十九）教育會の新役員（六百五十）教育會の新事業（六百五十一）教育會の新役員（六百五十二）教育會の新事業（六百五十三）教育會の新役員（六百五十四）教育會の新事業（六百五十五）教育會の新役員（六百五十六）教育會の新事業（六百五十七）教育會の新役員（六百五十八）教育會の新事業（六百五十九）教育會の新役員（六百六十）教育會の新事業（六百六十一）教育會の新役員（六百六十二）教育會の新事業（六百六十三）教育會の新役員（六百六十四）教育會の新事業（六百六十五）教育會の新役員（六百六十六）教育會の新事業（六百六十七）教育會の新役員（六百六十八）教育會の新事業（六百六十九）教育會の新役員（六百七十）教育會の新事業（六百七十一）教育會の新役員（六百七十二）教育會の新事業（六百七十三）教育會の新役員（六百七十四）教育會の新事業（六百七十五）教育會の新役員（六百七十六）教育會の新事業（六百七十七）教育會の新役員（六百七十八）教育會の新事業（六百七十九）教育會の新役員（六百八十）教育會の新事業（六百八十一）教育會の新役員（六百八十二）教育會の新事業（六百八十三）教育會の新役員（六百八十四）教育會の新事業（六百八十五）教育會の新役員（六百八十六）教育會の新事業（六百八十七）教育會の新役員（六百八十八）教育會の新事業（六百八十九）教育會の新役員（六百九十）教育會の新事業（六百九十一）教育會の新役員（六百九十二）教育會の新事業（六百九十三）教育會の新役員（六百九十四）教育會の新事業（六百九十五）教育會の新役員（六百九十六）教育會の新事業（六百九十七）教育會の新役員（六百九十八）教育會の新事業（六百九十九）教育會の新役員（七百）教育會の新事業（七百一）教育會の新役員（七百二）教育會の新事業（七百三）教育會の新役員（七百四）教育會の新事業（七百五）教育會の新役員（七百六）教育會の新事業（七百七）教育會の新役員（七百八）教育會の新事業（七百九）教育會の新役員（七百十）教育會の新事業（七百十一）教育會の新役員（七百十二）教育會の新事業（七百十三）教育會の新役員（七百十四）教育會の新事業（七百十五）教育會の新役員（七百十六）教育會の新事業（七百十七）教育會の新役員（七百十八）教育會の新事業（七百十九）教育會の新役員（七百二十）教育會の新事業（七百二十一）教育會の新役員（七百二十二）教育會の新事業（七百二十三）教育會の新役員（七百二十四）教育會の新事業（七百二十五）教育會の新役員（七百二十六）教育會の新事業（七百二十七）教育會の新役員（七百二十八）教育會の新事業（七百二十九）教育會の新役員（七百三十）教育會の新事業（七百三十一）教育會の新役員（七百三十二）教育會の新事業（七百三十三）教育會の新役員（七百三十四）教育會の新事業（七百三十五）教育會の新役員（七百三十六）教育會の新事業（七百三十七）教育會の新役員（七百三十八）教育會の新事業（七百三十九）教育會の新役員（七百四十）教育會の新事業（七百四十一）教育會の新役員（七百四十二）教育會の新事業（七百四十三）教育會の新役員（七百四十四）教育會の新事業（七百四十五）教育會の新役員（七百四十六）教育會の新事業（七百四十七）教育會の新役員（七百四十八）教育會の新事業（七百四十九）教育會の新役員（七百五十）教育會の新事業（七百五十一）教育會の新役員（七百五十二）教育會の新事業（七百五十三）教育會の新役員（七百五十四）教育會の新事業（七百五十五）教育會の新役員（七百五十六）教育會の新事業（七百五十七）教育會の新役員（七百五十八）教育會の新事業（七百五十九）教育會の新役員（七百六十）教育會の新事業（七百六十一）教育會の新役員（七百六十二）教育會の新事業（七百六十三）教育會の新役員（七百六十四）教育會の新事業（七百六十五）教育會の新役員（七百六十六）教育會の新事業（七百六十七）教育會の新役員（七百六十八）教育會の新事業（七百六十九）教育會の新役員（七百七十）教育會の新事業（七百七十一）教育會の新役員（七百七十二）教育會の新事業（七百七十三）教育會の新役員（七百七十四）教育會の新事業（七百七十五）教育會の新役員（七百七十六）教育會の新事業（七百七十七）教育會の新役員（七百七十八）教育會の新事業（七百七十九）教育會の新役員（七百八十）教育會の新事業（七百八十一）教育會の新役員（七百八十二）教育會の新事業（七百八十三）教育會の新役員（七百八十四）教育會の新事業（七百八十五）教育會の新役員（七百八十六）教育會の新事業（七百八十七）教育會の新役員（七百八十八）教育會の新事業（七百八十九）教育會の新役員（七百九十）教育會の新事業（七百九十一）教育會の新役員（七百九十二）教育會の新事業（七百九十三）教育會の新役員（七百九十四）教育會の新事業（七百九十五）教育會の新役員（七百九十六）教育會の新事業（七百九十七）教育會の新役員（七百九十八）教育會の新事業（七百九十九）教育會の新役員（八百）教育會の新事業（八百一）教育會の新役員（八百二）教育會の新事業（八百三）教育會の新役員（八百四）教育會の新事業（八百五）教育會の新役員（八百六）教育會の新事業（八百七）教育會の新役員（八百八）教育會の新事業（八百九）教育會の新役員（八百十）教育會の新事業（八百十一）教育會の新役員（八百十二）教育會の新事業（八百十三）教育會の新役員（八百十四）教育會の新事業（八百十五）教育會の新役員（八百十六）教育會の新事業（八百十七）教育會の新役員（八百十八）教育會の新事業（八百十九）教育會の新役員（八百二十）教育會の新事業（八百二十一）教育會の新役員（八百二十二）教育會の新事業（八百二十三）教育會の新役員（八百二十四）教育會の新事業（八百二十五）教育會の新役員（八百二十六）教育會の新事業（八百二十七）教育會の新役員（八百二十八）教育會の新事業（八百二十九）教育會の新役員（八百三十）教育會の新事業（八百三十一）教育會の新役員（八百三十二）教育會の新事業（八百三十三）教育會の新役員（八百三十四）教育會の新事業（八百三十五）教育會の新役員（八百三十六）教育會の新事業（八百三十七）教育會の新役員（八百三十八）教育會の新事業（八百三十九）教育會の新役員（八百四十）教育會の新事業（八百四十一）教育會の新役員（八百四十二）教育會の新事業（八百四十三）教育會の新役員（八百四十四）教育會の新事業（八百四十五）教育會の新役員（八百四十六）教育會の新事業（八百四十七）教育會の新役員（八百四十八）教育會の新事業（八百四十九）教育會の新役員（八百五十）教育會の新事業（八百五十一）教育會の新役員（八百五十二）教育會の新事業（八百五十三）教育會の新役員（八百五十四）教育會の新事業（八百五十五）教育會の新役員（八百五十六）教育會の新事業（八百五十七）教育會の新役員（八百五十八）教育會の新事業（八百五十九）教育會の新役員（八百六十）教育會の新事業（八百六十一）教育會の新役員（八百六十二）教育會の新事業（八百六十三）教育會の新役員（八百六十四）教育會の新事業（八百六十五）教育會の新役員（八百六十六）教育會の新事業（八百六十七）教育會の新役員（八百六十八）教育會の新事業（八百六十九）教育會の新役員（八百七十）教育會の新事業（八百七十一）教育會の新役員（八百七十二）教育會の新事業（八百七十三）教育會の新役員（八百七十四）教育會の新事業（八百七十五）教育會の新役員（八百七十六）教育會の新事業（八百七十七）教育會の新役員（八百七十八）教育會の新事業（八百七十九）教育會の新役員（八百八十）教育會の新事業（八百八十一）教育會の新役員（八百八十二）教育會の新事業（八百八十三）教育會の新役員（八百八十四）教育會の新事業（八百八十五）教育會の新役員（八百八十六）教育會の新事業（八百八十七）教育會の新役員（八百八十八）教育會の新事業（八百八十九）教育會の新役員（八百九十）教育會の新事業（八百九十一）教育會の新役員（八百九十二）教育會の新事業（八百九十三）教育會の新役員（八百九十四）教育會の新事業（八百九十五）教育會の新役員（八百九十六）教育會の新事業（八百九十七）教育會の新役員（八百九十八）教育會の新事業（八百九十九）教育會の新役員（九百）教育會の新事業（九百一）教育會の新役員（九百二）教育會の新事業（九百三）教育會の新役員（九百四）教育會の新事業（九百五）教育會の新役員（九百六）教育會の新事業（九百七）教育會の新役員（九百八）教育會の新事業（九百九）教育會の新役員（九百十）教育會の新事業（九百十一）教育會の新役員（九百十二）教育會の新事業（九百十三）教育會の新役員（九百十四）教育會の新事業（九百十五）教育會の新役員（九百十六）教育會の新事業（九百十七）教育會の新役員（九百十八）教育會の新事業（九百十九）教育會の新役員（九百二十）教育會の新事業（九百二十一）教育會の新役員（九百二十二）教育會の新事業（九百二十三）教育會の新役員（九百二十四）教育會の新事業（九百二十五）教育會の新役員（九百二十六）教育會の新事業（九百二十七）教育會の新役員（九百二十八）教育會の新事業（九百二十九）教育會の新役員（九百三十）教育會の新事業（九百三十一）教育會の新役員（九百三十二）教育會の新事業（九百三十三）教育會の新役員（九百三十四）教育會の新事業（九百三十五）教育會の新役員（九百三十六）教育會の新事業（九百三十七）教育會の新役員（九百三十八）教育會の新事業（九百三十九）教育會の新役員（九百四十）教育會の新事業（九百四十一）教育會の新役員（九百四十二）教育會の新事業（九百四十三）教育會の新役員（九百四十四）教育會の新事業（九百四十五）教育會の新役員（九百四十六）教育會の新事業（九百四十七）教育會の新役員（九百四十八）教育會の新事業（九百四十九）教育會の新役員（九百五十）教育會の新事業（九百五十一）教育會の新役員（九百五十二）教育會の新事業（九百五十三）教育會の新役員（九百五十四）教育會の新事業（九百五十五）教育會の新役員（九百五十六）教育會の新事業（九百五十七）教育會の新役員（九百五十八）教育會の新事業（九百五十九）教育會の新役員（九百六十）教育會の新事業（九百六十一）教育會の新役員（九百六十二）教育會の新事業（九百六十三）教育會の新役員（九百六十四）教育會の新事業（九百六十五）教育會の新役員（九百六十六）教育會の新事業（九百六十七）教育會の新役員（九百六十八）教育會の新事業（九百六十九）教育會の新役員（九百七十）教育會の新事業（九百七十一）教育會の新役員（九百七十二）教育會の新事業（九百七十三）教育會の新役員（九百七十四）教育會の新事業（九百七十五）教育會の新役員（九百七十六）教育會の新事業（九百七十七）教育會の新役員（九百七十八）教育會の新事業（九百七十九）教育會の新役員（九百八十）教育會の新事業（九百八十一）教育會の新役員（九百八十二）教育會の新事業（九百八十三）教育會の新役員（九百八十四）教育會の新事業（九百八十五）教育會の新役員（九百八十六）教育會の新事業（九百八十七）教育會の新役員（九百八十八）教育會の新事業（九百八十九）教育會の新役員（九百九十）教育會の新事業（九百九十一）教育會の新役員（九百九十二）教育會の新事業（九百九十三）教育會の新役員（九百九十四）教育會の新事業（九百九十五）教育會の新役員（九百九十六）教育會の新事業（九百九十七）教育會の新役員（九百九十八）教育會の新事業（九百九十九）教育會の新役員（一千）教育會の新事業（一千一）教育會の新役員（一千二）教育會の新事業（一千三）教育會の新役員（一千四）教育會の新事業（一千五）教育會の新役員（一千六）教育會の新事業（一千七）教育會の新役員（一千八）教育會の新事業（一千九）教育會の新役員（一千十）教育會の新事業（一千十一）教育會の新役員（一千十二）教育會の新事業（一千十三）教育會の新役員（一千十四）教育會の新事業（一千十五）教育會の新役員（一千十六）教育會の新事業（一千十七）教育會の新役員（一千十八）教育會の新事業（一千十九）教育會の新役員（一千二十）教育會の新事業（一千二十一）教育會の新役員（一千二十二）教育會の新事業（一千二十三）教育會の新役員（一千二十四）教育會の新事業（一千二十五）教育會の新役員（一千二十六）教育會の新事業（一千二十七）教育會の新役員（一千二十八）教育會の新事業（一千二十九）教育會の新役員（一千三十）教育會の新事業（一千三十一）教育會の新役員（一千三十二）教育會の新事業（一千三十三）教育會の新役員（一千三十四）教育會の新事業（一千三十五）教育會の新役員（一千三十六）教育會の新事業（一千三十七）教育會の新役員（一千三十八）教育會の新事業（一千三十九）教育會の新役員（一千四十）教育會の新事業（一千四十一）教育會の新役員（一千四十二）教育會の新事業（一千四十三）教育會の新役員（一千四十四）教育會の新事業（一千四十五）教育會の新役員（一千四十六）教育會の新事業（一千四十七）教育會の新役員（一千四十八）教育會の新事業（一千四十九）教育會の新役員（一千五十）教育會の新事業（一千五十一）教育會の新役員（一千五十二）教育會の新事業（一千五十三）教育會の新役員（一千五十四）教育會の新事業（一千五十五）教育會の新役員（一千五十六）教育會の新事業（一千五十七）教育會の新役員（一千五十八）教育會の新事業（一千五十九）教育會の新役員（一千六十）教育會の新事業（一千六十一）教育會の新役員（一千六十二）教育會の新事業（一千六十三）教育會の新役員（一千六十四）教育會の新事業（一千六十五）教育會の新役員（一千六十六）教育會の新事業（一千六十七）教育會の新役員（一千六十八）教育會の新事業（一千六十九）教育會の新役員（一千七十）教育會の新事業（一千七十一）教育會の新役員（一千七十二）教育會の新事業（一千七十三）教育會の新役員（一千七十四）教育會の新事業（一千七十五）教育會の新役員（一千七十六）教育會の新事業（一千七十七）教育會の新役員（一千七十八）教育會の新事業（一千七十九

內臺聯合茶業大會
先舉行物故者慰靈祭
北部其他關係者多員雨參列

既如所報。臺灣茶業宣傳協會。所主催內臺聯合茶業大會。二十五日午前九時半。在臺北市公會堂。先舉行茶業物故者慰靈祭。督府中視殖產局長。奧田殖產課長。谷村技師。臺北州廳勸業課長。民間有志。中村茶業組合總代。陳臺北茶商公會長。內地

（原稿用紙）（明治卅一年五月九日第二種郵便物認可）　昭和十年十二月十六日　臺灣日日新報　（土曜日）　第一萬二千七百七十八號　A　（一）

臺灣日日新報

本日夕刊共十六頁
臺灣日日新報社
臺灣六法　定價金四圓　送料共八錢
臺灣日日新報社編輯
改訂增補　臺灣六法
臺灣日日新報社編輯
臺灣六法　定價金四圓參拾五錢　送料共八錢
臺灣日日新報社編輯
臺灣六法　定價金四圓五拾

國府は商、宋兩氏に 武力彈壓を電命

不純分子の「策動」こそ見る

永清縣にも勃發

武安縣へも波及

地方財政交付金 來年度豫算に計上

きのふ定例閣議で内定

内臺聯合茶業大會

議案五件を決議

日滿兩國政府關係要路に きのふ決議文を打電

我軍中央部 事態を重視

支那駐屯軍司令部へ 眞相報告を訓電

我が首席全權に 永野大將を推さん

山本中將も全權に

白紙狀態で 開始するが適當

藤井代理大使に 帝國の方針を訓電

政權運動まで すまい

高橋駐平武官語る

國體明徴實行の 特別機關を設く

政府、三案を考ふ

クレタ島(ギリシャ)に 革命叛亂勃發

政府は軍隊を急派

王政復活の 反對運動

北平、天津に 暴動勃發說 頻りに傳はる

青嵐居士の 臺灣の印象

きのふ迎賓館で語る

香河民衆側 ビラを撒く

程天津市長排 日取締を布告

日滿郵便條約 極府に御諮詢

本日夕刊共十六頁

臺博を視察

昨夜南下

人事

臺灣神社のお祭には…
專賣特許 東京あまざけ
御子達や、御老人、御婦人の大喜び！
熱湯で二倍にウスメて召上れ…
三谷軒移轉

アイスキヤンデー冷凍機
特價六圓也
臺北市三線中間期間出張所
臺北市三線二丁目
台灣製氷株式會社
冷凍機・氷販賣所
台北市本町二丁目
谷野の履物
谷野商店
大和町三丁目
忍玉町三
支店

内科 小兒科
呼吸器病科
淺井醫院
入院隨意
臺北市本町

内外科 レントゲン科
小兒科 (入院隨意)
庄司醫院
臺南市神農町(舊新町)四ノ一七〇

酒銘 白鶴 ルツクハ
近畿・北陸 一手問屋 商店

油器各種
御出荷大用品景
有田燒美術盛鉢一個進呈
上皇
お食事は今！
冷れない！豆上！
油器製造元 株式會社 油圖子鉢 連用御名内宮

金鯉 クルミ
KINSEN BRAND CONDENSED MILK

小兒科 レントゲン
内科 大磯醫院
臺北市京町一丁目四六番地
醫學博士 オホイソトモアキ

一流一手 ニヲオドール
方今 ニヲオドール
臺北市本町二丁目一番地

外交員 社員 募集
第一生命保險相互會社臺灣支社

祝 臺博開館 年中無休
本町二丁目一番地 三谷軒の肉食デー 毎月十・廿日曉 富日限り 一割引 開始
神戸肉 カシワ・ハムス 五十錢
臺北本町電八四番 三谷軒

南洋の近情……（終）

旨蘭會商は再開すべきだ

大倉洋行主　岡野繁藏氏談

民間の親善と政府間での話合いはさておなし、關稅の改訂期が近づいて來ると、例の「日本品の排斥」「日貨配給を」などと騒ぎたてるが、これは一部の人が自國の商品を賣るに急なるの餘り、ついやり過ぎるからで、日本品が安くて良いから買うのだ、といふ事を忘れてゐるのだ、と思ふ。

◇……非常時法案……が設置されて、これが關稅改訂の際にも適用されるとなつたら、日本品は殆んど入つて來ないことになるだらう、と心配する人もあるが、これは杞憂に過ぎない、日本品が安くて良いから買ふのだ、といふ事を忘れてゐるのだ、と思ふ。

◇……總督府當局……（略）……用發動到底困難なる點もあり、又一面比較的早く發動し得る點もあるが、何れにしても發動は容易ならざる事態の下に於てのみ行はるべきものであるから、唯一つ注意すべきことは、内地からの資本家が、この種の發動に對して、今迄の發動の際に屢々見聞した樣な、不當の要求を持出すことである。

◇……有耶無耶の……（略）……

◇……現在の交通……（略）……

◇……非常時法案……（略）……

◇……日貨配給を……（略）……

◇……總督府當局……（略）……

都會化粧

(110)

岸田國士

中川一政畫

落ち行くもの (二)

ひと息に、照子は、この手紙を書いた。それは、最後に訪れた悲々たる日の午近くであつた。

郵便の配達がとうく眼に伊んで來た。手がふる〳〵と震へ、呼吸がつまりさうになつたが、ぢつとしてゐられなかつた。

——こんな風でいいのかしら？　何かもつと複雑な、或は、もつと切實な、もつと痛烈な表現があるのではないかしら？　と、自分の上に落ちかゝつて來るものを、じつと待つてゐるのかといふことをおへ直してみると、自分とはなんの係りもない、かの屋臺の上で演ぜられてゐるドラマの一光景を眺めながら、安心しつゝ感動せずにゐるやうなことがなくはなかつた。

——さうだ、この手紙を書き終つたら、すぐ、あの人の家へ行つてやらう。

と、照子は

蔬菜寺ねて幾千里
支那を縦断する（四）
臺灣と重要關係にある南支に眼を注げ

臺北州技師　熊澤三郎

僅に殘れたか、かくの如く、日本留學生は數に於ても多いのであるが、兩氏の說明の如くに、ひとつとして團體の精神的結合に缺けるから團體の力が發揮されず、從つて學生の地位も低く、從つて學生の地位も低くなるのである。然しながら、共產黨の策動に於ては日本と雖も、その方法に於ては同じである。日本は非常な實力と自信を持つて仕事に從つてゐるから、日本に對する所謂排日運動に對しては、非理性的に事を構へず、又何等の手段をも講じないのである。

×　×

又日本人間でよく聞くのであるが、一海あたりで殺し合ひ（○○○○）が時々見つかる。自分は上海四川路で對日暴動の現場を殺見し實際に取つて來た。此說は眞に來て居ても取つて來た。此說は眞に來て居ても、上海は一番ひどかつた。

×　×

惡者は善くしてゐる。支那が國際的に敵へ廻つてゐるのは、之が和を愛する敵へ廻つてゐるのは、之が和を愛する敵へ廻つてゐるのは、之が和を愛する

昭和十年八月二十八日　東京日日新聞　第一万二千七百七十八號（内閣情報部許可）

伊太利とエチオピア
その紛爭の原因と
興味ある虚々實々史

全世界注目の的

イタリーとエチオピアとのいさゝかが険悪度にこれまで、アフリカの一角に強火を點はしてゐる、一方は突撃と雨と風嵐がカクテルとなつて猛襲する熱帯の黒い國、他方はアルプスとコンドアの雪嶺の近代文明の白い國、それがアフリカを舞臺にまつ赤な血を流つゝあるのだから、全世界の驚愕と關心は、この戰爭の勃發を阻止するにあるのも無理はない

ゼネバの國際デテラ海汗で光つてゐる、この世界的に有名となつた會議場の中でムツソリーニはあの鋭い大なる鼻孔に對抗してエチオピア皇帝ハイレ・セラシエ陛下がガウンの襟をまり上げて真向から受けて立つやうじやうし夏に世界の紳士淑女と云はれる國際がモーニングの袖の切れる程に腕まくりして飛び掛はうとも、鎌もつかない全世界に擴える禍の種をついてゐる、ここには伊太利とエチオピアの真に深い因縁ある關係と、歴史の原因を述べてみよう

先づ第一に何故にイタリーの様な文明の大國が何故にかくアフリカ二角の一隅、人跡未踏の地とも云ふべき、エチオピアの平和の國境を侵犯してまでも、この色の黒い、ライオンみたいな猛獣の國をわがもの顔にしようと、途にあせるのか、疑問が先づ第一番から見て起るのである

×

エチオピアの本體を解剖すると、總面積五十萬平方哩、千九百萬の非常な高原に都をおき、總人口は僅に一千萬内外といふから、一哩の中に僅か十人位の割合で、實に寂寥たるものである、丁度富士山の中腹以上のところばかりで、農業は殆んど出來ない、また鑛産に於いても、これといふ程のものもなく、人間が住むには餘りに適してゐないところである、從つて人口が出來る程多くはない、しかし高地に近いだけに日光の直射は可成強く、冬暖かく夏涼しく、マラリヤなどもルメントは必要だが、夕方から夜分にかけては時としてオーバーコートなしに外出し難い、と云ふ位の高原地帶である

ところが、アフリカでも熱帯の大陸の中央部とか、海岸地帯とかは、實に酷熱の地獄そのものの様な猛烈さで、一歩海岸を離れて奥に進むと、殆んど草木も生えない、焼けつく様な砂漠地帯が續いてゐるのである

×

但しかう云ふ風に云ふものの上流地帯にアルプス連峰の氣候にも似た様な處があるかも知れないが、殆んどこの様な處は、極く僅かに點在するに過ぎないのである、丁度富士山の中腹以上のところばかりで、農業は殆んど出來ないのと同じ様なものである

×

エチオピアと云へば、直ちにサララ大沙漠とか、黒人奴隷とかいふ様な、暗黒大陸の代表的の國の様に考へられてゐるが、實はこの様な猛獣の棲息地に關してゐるために、たゞ單に想像されるに過ぎないのである

×

氣候的特色の、まだ一つを擧げると、我々は暑さは暑いものと先入代々教へられてゐるが、エチオピアでは寒くて冬は寒いのだ、即ちこれは雨季と乾燥季とによつて、寒暑の差が出來るので、暑さの三月目に何回となく雷雨があり、その前後は流行性感冒が猛威をたくましくするのだ

×

そしてこの外に何かあるかと云へば、コーヒーがある、アビアのモカ、コーヒーと云へば、世界最上品とされるモカリー・コーヒーと云ふ飲料が、年に二千萬圓を輸出されてゐるが、實はこれは、エチオピアの野蛮人の常用飲料に過ぎないのだ

×

丁度この時イタリーは國内のゴタゴタ續きで、おまけに國王陛下なども、ローマ市民から、ほとんど忘れられてゐる様な有様だつたので、この國内の不平不滿を外に轉じようと、エチオピアの野蛮人の常用飲料に過ぎないのだ

×

丁度この時イタリーは國内のゴタゴタ續きで、おまけに國王陛下なども、ローマ市民から、ほとんど忘れられてゐる様な有様だつたので、この國内の不平不滿を外に轉じようと、エチオピアの野蛮人の常用飲料に過ぎないのだ

×

ところで何故イタリーとあらうものが、こんな言語道斷な土地をワザ〳〵手に入れたか、ここでしばらくイタリーとエチオピアのやさしい關係を出來るだけ簡單に述べて見よう、今言つたエリトリアとソマリランドと云ふ無價値な土地をイタリーは買つたのである、讀者からとやかにそれはその啞專制手のエチオピアからである

×

どんなセコカケからかと云ふに今から數六十年も前にエチオピアにメネリック二世と云ふ英傑の君主がゐた時分、この英傑の君主はエチオピア國の統一を計ると云ふ一大野望を抱いて、その遠謀深慮のアーム・ストロング兵器、最新式の武器がそろへ他の國に類を見ない程の兵力を養つて居つたのだ

×

丁度この時イタリーは國内のゴタゴタ續きで、おまけに國王陛下なども、ローマ市民から、ほとんど忘れられてゐる様な有様だつたので、この國内の不平不滿を外に轉じようと、エチオピアの野蛮人の常用飲料に過ぎないのだ

×

ところでこの二人の英傑と云ふ君主が、同じく國内のゴタ〳〵を一掃して、新興國のイタリーがエチオピアに眼で探してゐる時分だつたので、お互ひに手を握り合つて、今日の繁昌ところか、親交とも云ふべき關係を結び合つたのである、ところが相手が野蛮人だと見くびつたものか、イタリーは親善條約と、締結すべきチエリ條約（一八八九年五月二日）と云ふものをメネリック帝と結んでイタリーが他國よりも優先地位關係をエチオピアとの間に樹立せうといふ風に成功をしたのはよいが、この條約でイタリーはインチキを行つた

即ちこの條約中一條も切なる第十七條に

「エチオピア皇帝は欧洲國間に於て他の政府と關係あるのは凡て伊國政府の仲介に依り解決す」

とあるが、この第十七條をイタリーはインチキしたのだ、エチオピアで通用するアムリック語の文ではすること多様」となつてゐるのに、イタリー文では「せざる可からず」とコツソリ訂正してこのイタリー文の方を尊重として英佛、獨の三國に通知したものだ

ところが悪い事は出來ないもので、英國のソールスベリー卿は、なんだか變だぞ、これはおかしいぞと思つて英をメネリック帝に送つて、これ〳〵しかじかと注意めかしたので、ここに有名なアドワの戰ひとなつたのだ、イタリーは「何、戰爭とあればこつちの勝だ」とたかをくゝつて立ち向つたのがそも〳〵の間違ひ、この一戰で見事に鼻を折られたのである

×

この三十年前のアドワの一戰はイタリーにとつて大きな痛手であると共に、エチオピアにとつては光輝ある戰勝であつた、これが今日まで國國民に相當幾多の影響をお互ひに與へられた結果となつてゐるのである

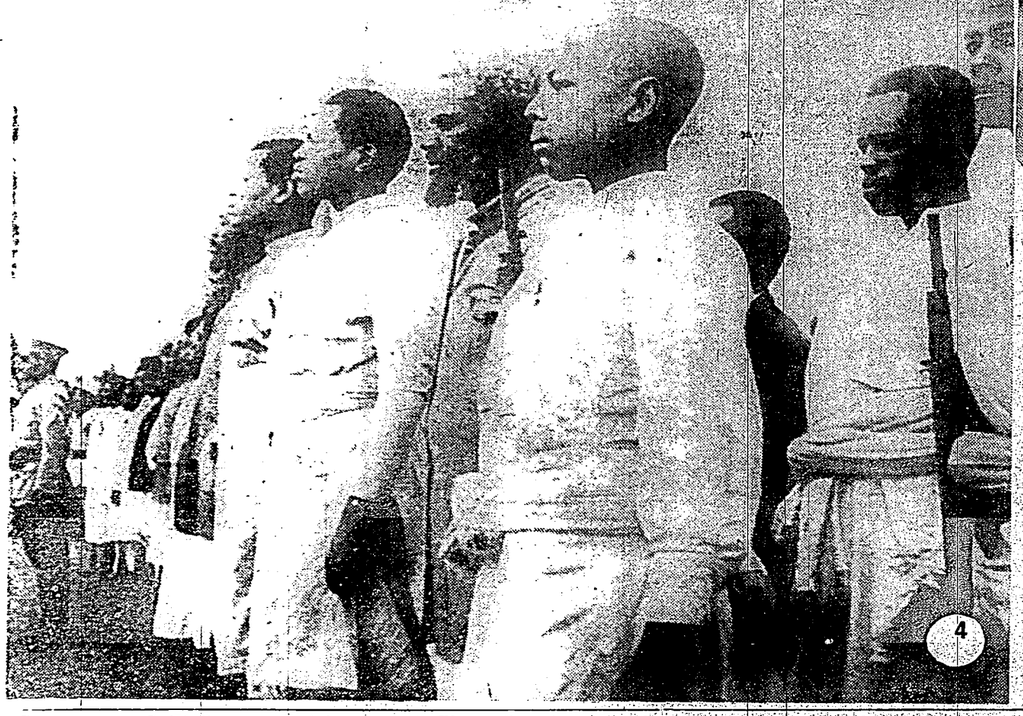
×

さてこの一戰でイタリーとの關係が決定的となつたエチオピアは、メネリック帝は次ぐ〳〵と強國の手腕を揮つて國内の統一を計り、四圍の諸國を征服して、今日の大エチオピアを築き上げたのである

×

メネリック二世は、イタリーとの戰ひに勝つや、直ちに、エチオピアの四圍の諸國に對して、一戰を交へ、或ひは、これらの國々を征服して、エチオピアの領土を擴張した

(1) 積々戰線へ送られるエチオピア軍
(2) 出征に先立ち皇帝の檢閲を受けるエチオピア軍
(3) 伊領エリトリアに到著した伊太利軍
(4) 老若皆武裝して出征するエチオピアの義勇軍



上陸した伊軍の歡迎に集つて來たエリトリア土人軍

開戰の原因
ウワルウワル事件
國境線をめぐりて

イタリーの國歌が流れつゝある。珍妙な笛聲を目當にのこのこ集つて來た土人兵が、その樽型な帽を並べて、突如イタリー士官に率いられた二百五十名ばかりのソマリ族の土兵に襲はれたと思つてるに違ひない。

先づ中止した

紛爭は聯盟に提訴

ウワルウワル事件と云ふのは大體以上の樣なものであるが、こんなに明瞭でないさうであるが、こんなに明瞭でないさうであるが、こんなに明瞭でないさう

藝術の美術を拾つて（一）

永山義孝

北村氏と銅像

アトリエの中は、黄色の壁にカナリヤの黄色い鳴き聲と、小春日和の光線とが溢れてゐる。白い壁畫を描いた北村氏の手は像の周りをはつてゐるやうに又は急速に動いたりしつとにら様にして下から見上げつゝ又自分もの像の最後の説明をアトリエの中に於てではなく、あの廣場の噴水の上から下を見渡した時の光線を見たいと思ふ。

▽大笑作家の子息　洋畫家北村氏になる　銅像がよい「スケート」と上つた次の子、と見る、北戸八百八町は私の至、あゝ惡くやれ」と、お手本前に、お祖父さんの銅像を作つてゐる。

▽先づ小規作家の郷八十氏は　ジャンジャンジャンと鳴えたあゝソレ、ジャンと消えた

▽東京市日本橋區通町三丁目四十番地　發賣元　鈴木日本製藥社　社主　鈴木清二　振替東京一〇五番　電話本局八〇番　八〇番

大日分一回・十二日午分二回・廿日分三回・廿五日分五回・七十五日分十回・百六十日分廿回・二百六十日分（徳用）卅回　發賣四十二錢・代引十五錢增

最近著の雜誌

▲花蝶（公募十月號）▲月歌（十月號）▲お（十月號）▲婦人倶樂部（十一月號）▲婦人畫報（十一月號）▲東方之圖（十月號）▲政界往來（十一月號）▲人の友（十一月號）▲婦人公論（十一月號）▲婦人之友（十月號）▲婦人畫報（十一月號）▲婦人倶樂部（十月號）▲婦人畫報（十一月號）▲婦人公論（十一月號）▲婦人之友（十月號）▲婦人畫報（十一月號）▲婦人倶樂部（十

腐敗した食物を 兒童に喰はした宿屋

父兄らがその話を聽き憤慨 市に抗議を申込む

不評判の旅館

【臺南出張】臺南市内の各小學校では秋の遠足旅行を兼ね、學藝會の準備に餘念なく、殊に十數年來の行事として樂しみにしてゐる臺南市外の旅行地は、例年に變らず鹽水港方面に押掛けてゐるが、鹽水港における旅館の低級食事ぶりの他、如何に不潔な取扱ひをなしてゐるかは、既に屢々傳へられてゐる處であるが、今回も亦、同地に遠足した某小學校兒童の一行が、宿泊した某旅館の如きは、實に言語道斷の取扱ひをなしたので、父兄の間に非常な憤慨を買ひ、學校當局へ對しても、市當局へ對しても、嚴重なる抗議を申込むに至つた。

校長も驚いて語る

臺展の會場を 吉風居士が漫歩

きのふ一般招待日、

今年の臺展第二部の會場は、例年に變らず、臺南市の公會堂であつて、秋の晴天續きの一日、會場は觀覽者で滿員の盛況を呈した。

海女を訪れる記

瑞芳取次店の 觀光團招待

來月三日に決定

頌死二件

淨業院に鰻や、蟹を持込む

震災風水害の 横死者慰靈祭

きのふ城隍廟内で

〝荒仕事はしても 氣立て優しい處女〟

臺博で呼び物になつてゐる

支員が戸別訪問 乘權を防止

宜蘭郡で打合會

議論百出

花蓮港街の 選舉座談會

千七百餘名の 殉職者を弔ふ

鐵道部主催の追悼會

又も大賑ひ

神社祭典の催物

鳳林支廳で—

壯丁團の檢閲

八幡博堂氏 總督を訪問

頭分庄の市區 改正地鎮祭

天然樟腦林の 保護に努力

專賣支局の大方針

赤阪氏を中心に

修養座談會

淋疾の治療法

神經痛の療法

ち疾の治療法

心臟腎臟病の 治療法

書き良い複寫紙

レミントン印
色の褪ちぬ 鮮やかな色澤 書きよく 他品の三倍以上 永く使へる レミントン印 復寫紙！
大阪 賣捌店 株式會社 井商 元町店
二三菱モートル
密封ベアリング附
各馬力在庫整備
東京九段
三菱電機株式會社
三菱商事株式會社
店約時・店支地各

淋病・梅毒

最新最的紀劃

ゲンゴール

前東京吉原遊廓吉原病院長

佐藤榮先生發明創製

尿道最深部（腎盂側壁副尿道）の早期

淋菌死滅は局所療法以外無し

速急の滲潤性は

危險和登明かに解消

不徹底なる内服藥、洗滌、固形挿入藥等に倒底求め難き治療難關の尿道の膿壁、側道、副尿道等の底深部の淋菌を經濟、實に最後の一菌まで微細に死滅せしめる細胞醫化學の深淵を究めたケンゴールは、實際治療上稀に見る効果を擧げ、滲透性全然無く注入全量が其儘尿道注入用器の擴護膜以下深部の器官を冒す危險極まる不完全一粒注入藥と全く根據を異にし、〇、五乃至〇、七の僅用全量は迅速に尿道粗鬆各隙底部に滲潤し一滴と雖も尿道の表面に滿溜せるケンゴールに於て危險の憂ひ毫末も無し。故ろ攝護腺炎、精嚢炎、副睾丸炎等を治療睾丸特質は專門醫家が驚倒し、本劑を以て、永遠の治療指針全く確立すと認識起真す。

註に治淋の理想全く確立

尿道口の發赤腫脹、疼痛激烈な初感染急性淋には固形局所藥は挿入の際刺戟を以て疼痛を强め到底挿入困難に反し、急性尿道口の最尖端に藥布する程度の微量が能く廣範圍に深迫作用し淋菌を根絶するはケンゴール獨自の特質にして、慢性淋には全尿道の底深部の四分の一程度の挿注を以て完全な全面的の發菌を强行する特質と双璧特長たり。

現下の治淋界には慢性、慢性淋に異例なく根本的に殺菌治淋を達成する本劑に追隨の局所藥は絶無、發明完了以來治療界の首座を占め微動だもせざる所以にして、實に本劑の完成を以て治淋界永遠の安定を得たに稱すべく、次で現も期待し難き凡ゆる内服藥、淋菌療の致命的缺陷を有する多量に稀薄藥液を使用する洗滌法一般注入藥、固形挿入藥等の不完全療法を求めて尋ねらじむ如き患者の覺醒を求め根本的治療に轉換すべき淋疾も淋菌の深部進行による恐怖なる淋菌の殲滅はケンゴールに於て始めて安堅なる全世界の專門醫家の實驗的證明、治療全治の確實なる長き歴史を以て確信す。速に世界的發見の局所殺菌藥本劑の深殺菌の眞効に信賴に根治せよ

買ひ求めに際しプラオンギン ケンゴール の名稱と製造元 日東製藥合名會社 に御注意を乞ふ。本劑の決定的殺菌力は唯一にて代用品はあり得ない

全國藥店デパートで販賣す品切の際は總代理店へ直接御註文を乞ふ急送す

（文獻進呈）

東京市芝區通新町十三番地

總代理店 河原商店

日東製藥合名會社製品

振替口座東京 35019番

電話三田 1685—1686番

藥價

普及型　1円90錢
25瓦入（約17日量）3圓80錢
50瓦入（約35日量）7　圓
80瓦入（約57日量）10　圓

注意安眠（金性用）耳管（婦性用）
安眠（婦人用）あり、御注文の際は御明記を乞ふ

内服藥に盲從し易き初感染者の猛省を促す

醫學博士　江口勝四郎

淋病の再發無き根治には尿道の深部病竈（殺菌、側道、副尿道）の殺菌が絶對條件なるが故、殺菌作用絶無なる凡ゆる内服藥に於て淋病全治の望み難き細胞醫學上は固より齊しく慢性患者の體驗に基き明白なる事實とす内服藥の主なるものはサンタル油（白樫油）バルサム類、ザロール、ヘルミトール等なるが、何れも尿道の痙攣を多少緩和し幾分收斂作用あるのみにして、尿に淡色をみるも殺菌作用に乏しく、

殺菌、深達强力プラオンギン主劑新局所銀劑の完成

醫學博士　北井錢八

微細に殺菌し、迅速なる疼痛緩和、排膿阻止作用と相俟つて淋病全治の理想を完う新局所銀劑なり。故に本劑を以て患者の苦悩は最短期間に除かれ經濟的負擔の減少は治療者を狂喜せしめ徹底的膿球淋菌の消滅、尿の清澄透過、再發の杞憂絶は更に保證歡せしむ。自ら始息なる内服藥、洗滌、一般注入藥、固形挿入藥等の不完全療法を求めて尋ねらじむ如き患者の覺醒を求め根本的治療に轉換すべき淋疾も淋菌の深部進行による恐怖なる淋菌の殲滅はケンゴールに於て始めて安堅なる全世界の專門醫家の實驗的證明、治療全治の確實なる長き歴史を以て確信す。速に世界的發見の局所殺菌藥本劑の深殺菌の眞効に信賴に根治せよ

驚くべき淋菌殺滅の迅速

醫學博士　深瀨周一

本劑ケンゴールの主成分プラオンギンが驚異的殺菌作用、浸潤作用を有するは實驗上證認す。臨床從事二十年に亘々たる經驗を以て見て本劑が從來の局所藥を根本から覆へせる未曾有の治淋劑たるは明白、本劑の淋菌死滅例も過去六ヶ年相當數に達し、稀有の治淋劑たるの確證は立派に有す。堂々患者に本劑治療を奬むる所以なり。

危險の杞憂毫も要無し

醫學博士　柊山七五郎

淋病不治の根源は尿道最深部の淋菌を死滅する作用絶無たる内服藥、洗滌、一般注入藥、挿入固形藥等の療法に止るために、淋菌自體は益々長じて死滅困難なる細菌に非ざるは醫化學上明らかなり。

東京吉原遊廓吉原病院長在職十數年の長きに亘りたる佐藤榮先生は、壯年最高の學府に於て嘖々とられた權威、尊き多年の實地治療經驗、世界の文獻資料を網羅基礎にせられ强力殺菌作用と驚異的深達作用を發揮せる前人未發のプラオンギンを得て茲に頒布、止疾、創泌等、淋病治療上不可缺なる重要各作用を化學の極致を以て結合せしめた一大發明完成品ケンゴールは、治療困難なる尿道の殺菌側道、副尿道等、底深部に潜む淋菌を徹底的に殺菌作用、深達作用共に決定的藥物の發見に努力せられた、國らずも佐藤榮氏の貴重なる多年の治療經驗と學識によつて世界的局所藥本劑の完成をみ、患者の大福音と稱すべし。稀有の浸透性は從來の局所劑の缺點とせる攝護腺其他に對する危險を明かに解消し是等の障害を治療する作用をすら賦與したる點唯驚嘆の外無し。

初めて自宅に於て淋菌全殺が可能

醫學博士　向井又吉

醫化學的に明確なる根據を持つ治淋劑は到底得難いとした折柄本劑ケンゴールの發明完成を得て一齊に臨床醫驚愕す。多年治療界が求めんとし求め得なかつた放理想の局所銀劑本劑は當然たる學說に基くは固より迅速なる淋菌消失例數百を以て實際上の効果きた學說と併行するは明白歴然とす、前人未發のプラオンギンの浸透性は患者の自宅使用に全然危險を伴はず、手輕く安全に自宅殺菌の可能は本劑の劃紀的貢獻と信ず。

ケ年全く再發無き百例に近き事實を以て明かとす。正に本劑が治淋唯一劑たるの事實は以上を以て明確とす。猶以上の外本劑治療の淋菌死滅例は最大數に有することを附言す。

北投地獄谷に投身
新婚の妻が自殺
見學旅行の學童が發見して大さわぎ

北投湯の里に若き契妻、しかも結婚して僅に八日目に聞くも恐ろしい地獄谷に身を投じて豐倍の自殺を遂げた悲劇が演じられた、二十五日午前十一時半頃北投見學の南部某公學校生徒の一團が旅館大和下のこの地獄谷に赴き小徑を辿り始めるとうら若い女性が仰向けになつて死んでゐるのを發見したのがこの惨史の發端である

初代松濤園主の遺兒
死んだ千代子の數奇な運命

北投八勝園は……記念碑……さゝ……建てられる……人……との間に子女がなる……美貌の……將主でありながら……家庭的……の位牌のあるところ……千代子が若き身をしかられに……

痛ましき思出の種
（松本千代一と安田文秀の結婚記念寫眞）

愈よ本格的に
乘り出す海外放送
南米、印度等へも擴大

非常上告に決定
大審院檢事局が熟議
愛鄕塾關係者に對して

熱湯で骨のみ
腰から下は
死を選んだ理由

死んだ父親の
位牌を守る決心
結婚する迄育て親の話

御世話……致しましたが、今までの若者が非常に……

臺主の僧侶に
兎角の噂さ
昨夜近親者が通夜

機械の力を用ゐた
近代的な復讐か
交換局建築物の慘劇

今夜音樂堂で
生蕃踊り
月明の蕃社氣分を照明で巧みに現出

萬華淡水川で
盛大な花火大會
今夜七時から開催

徳川家達公が自ら
少年の放送を通譯
少年赤十字の國際交驩放送に

臺北市上空の
遊覽飛行
愈よけふから十二日間

臨時の準急列車
收容人員は約六百名

今夜から連轉する

死刑か無罪か
三人組の賣下者殺し
檢察官は痛烈に死刑を求刑
來月十一日に言渡

能樂大會
廿八日公會堂で

三派合同の
局長會議
第二日

全島三等郵便

警視廳の照會で
活動を開始
金塊の密輸事件

全國水産大會出席者
湖北丸で來臺
木村泰治氏も同船

全島軟式野球
組合決定
愈よ廿六日から

結婚後
嫌がり
直ちに離別

謝介石氏が
一萬圓寄附

馬に關する映
畫公開

シヤムから
視察團
廿一日に來著

雨霽れて
大賑ひ
昨夜の夜間開場

廿五日の入
場者數

直接の
能樂大會
廿八日公會堂で

全島三等郵便
局長會議
第二日

臺北市小學校聯合
運動會延期

ナイフで斬り
つく

巡査を傷けた
博徒に求刑

三派合同の
能樂大會
廿八日公會堂で

全島三等郵便
局長會議
第二日

臺北市小學校聯合
運動會延期

ナイフで斬り
つく

巡査を傷けた
博徒に求刑

臺灣神社祭禮興行……
片岡千恵藏　田村邦雄　市川春代主演
オールトーキー
森靜子　松本泰輔　主演
オールトーキー
臺灣日日新報
臺灣日日新報
臺灣日日新報

本田大佐爲中心在督府
重要協議對支政策
各領事武官熟心交換意見

二十五日午前十時。本田軍令部支那課長。干村第六課長。加藤外務省第四課長。服部參謀。酒井海軍武官。五本府外事課長。水沼香港總領事。山田廈門領事等。集于府內軍武官室。就對支政策。重要會談。首由本田課長。說明如左。

對支政策。今無更改之要。然政策運用。就地斟酌。尙有必要之點等。雖同十分。恐思疏通。故爲與外地官憲間。協議相談。並聽取現場狀況而來者。爲是現場各領事。酒井海軍武官。趕起。明現地狀況後。各熱心開陳意見。十分協洽。正午散會。

臺灣神社例祭
臺北行事

臺灣神社例祭。臺北市行事。決定如左。

▲競馬。二十七、八兩次。在臺灣神社附近。

▲素人角力。二十七日晚。

▲提燈行列。二十八日晚。

▲煙火。二十八日晚。在臺北公園。有設置煙火場所。本月因元帥葬會場。遂不能設置云。

農窓員研究
發表事項

臺灣農窓員會大會。如既報。于二十七日。於開于大學。分。開於首相官邸。岡田首相。以下各大臣（大角海相缺席）出席。先由吉田調查局長官。將去二十三日。內閣審議會總會。提出地方財政改善所關諸問題。目的。詳細說明。岡田首相就閣議處置。

求業開陳意見。結果中間報告中。財政稅制整理問題。行政改革問題等。關係各省問。聯絡協議已遂。決定調查其實現所關事宜。更地方財政之一般問題。急對策地方財政交付金問題。體案。內定明年度豫算計上方針。內務大藏兩省間。方爲協議。決定由內閣調查局。求兩省提出參考案。

地方財政交付金
計上來年度豫算
定例閣議已內定方針

同十一時四十分散會云。

軍縮會議
正式請來到
作回答案文

東京二十五日電。英國政府軍縮本會議正式招請狀。二十五日朝。經廳。非代理大使。到外務省。外務省直移牒海軍省。同時著手作回答案文。來月一日閣議。爲熱田神宮造營祭。決定中止。或來三十一日後。多少反撥云。

憲法草案五項修正
蔣氏獨裁之勢成歟
置總統制得任命兩院長

南京二十四日電。第六次。提在中央常務會議。決定中央全體會議。並第五次。九項修正原則。請速予法院立法院。二十四日午後一時。審議結果。第三讀會。

上海票金
又復奔騰
通貨仍不安

上海二十五日電。當地通貨不安。依然濃厚。買銀買外貨。需加旺盛。二十五日票金市場。起至四十二弗。對外滅水。對英一志三片八分七。對米三十二弗二分一。對日百十三圓。即對英十六分五厘。對日二圓二十九錢。各銀落。又頭場或二日開始。正式決定。即日發送。

臺灣畜產大會
先表彰功勞篤志
二議題一致可決

臺灣畜產大會。二十四日。表彰者。爲畜產功勞者（二）。午後一時。開于臺北鐵道。十年以上。在畜產業（二）。貢獻于畜產事業（三）。及畜產思志家（民間對畜產之篤志者）十名。由協會長對功勞者。曲。總代鳩野。政雄氏。篤志家。總代塚本。鑑次郎氏。前者。授與表。彰狀及銀。杯各一個。後者。授表。彰狀及徵章。

基隆署招集家長
說明選舉取締規則
席間有希望文盲教育

基隆。警察署。去二十三日。午後八時。招集。旭町派出所管內。各戶家長。假基隆同風會。館樓上。開家長會。出席者二百餘名。多係選舉。有權者。註井高等主任。龜山外勤監督。元谷高等外。關係巡查等臨席。十年三月三十一日。與蘇澳自動車。公司代表者陳火爭闘不已。最後。由五十嵐大塚兩刑帶赴。廳。小林警部補。說明選舉。注意事項。中昭和